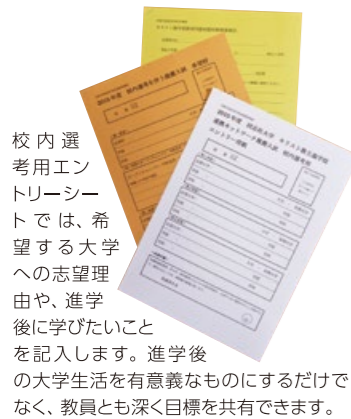


Points of Mission!!

ミッションならではの
学校生活をご紹介します。



教育方針である「勉強プラスもうひとつ」。もうひとつに打ち込むことで、生徒たちはさまざまな「気づき」を得ます。時には失敗しながらも達成感を得る経験が、一人ひとりの成長につながります。



校内選考用エントリーシートでは、希望する大学への志望理由や、進学後に学びたいことを記入します。進学後の大学生活を有意義なものにするだけでなく、教員とも深く目標を共有できます。

なぜ北陸学院高等学校が選ばれるのか？

ミッションの「教育力」

1885年の創立以降、「ミッション」の名で親しまれてきた北陸学院高等学校。教育方針であるキリスト教に基づいた「勉強プラスもうひとつ」のもと一人ひとりが目指す未来の実現に向けて、ミッションだからこそできる教育を行ってきた。選ばれ続けるミッションの教育力・進学力に迫る。



「あなたが大切な存在であること」を
3年間伝え続けます。
玉作 裕美

北陸学院高等学校
国語科教師 玉作 裕美
1965年生まれ。東京都出身。東京女子大学文学部日本文学専攻。都内及び石川県内で高校教諭・予備校塾講師を経て2007年より北陸学院高等学校の教壇に立つ。今年度は高校3年生を担当し、古典を教える。また、宗教課、進路指導課に所属し、小論文の指導を受け持つ(国語科、3年担任の教員陣と連携)。

その生徒にしか書けない 小論文を目指す

受験における小論文は、生徒個々が、その大学に入るためにどれだけの準備をしてきたかをプレゼンテーションする入試スタイルの一つだと思えます。生徒たちが一つの小論文を仕上げるまでには、問題の本質を掴む力や必要な資料を探す能力、コミュニケーション能力などを総動員しなくてはなりません。教員として、文法や語句を直してあげることができませんが、そこに自らの実体験に基づいた気持ちや達成感などを相手に響くものにはならないと考えています。

は、枚挙にいとまがありませんが、特に印象に残っているのは夏休みを利用してロシアのイルクーツクに留学した女子生徒のことです。
彼女は、現地のホストファミリーにほんとうに愛され、充実した時間を過ごしたことから、上智大学のロシア語学科への入学を希望し、小論文による入試を選択しました。試行錯誤の末に完成した小論文には、留学先で感じたホストファミリーのあたたかさや日本とロシアの架け橋になりたいという願いが、彼女自身の言葉でつづられていました。希望の大学への進学を果たしてから数年後、北方領土問題について若者たちが現地地帯で考えるテレビ番組の映像の中に彼女の姿を見つけたときは、うれしさがこみあげてきました。

校を巣立っていきます。
選ばれた、大切な存在であることを伝え続ける
毎春、入学式の日には生徒たちに真っ先に伝えられるのは「あなたは選ばれてここに来られました。あなた自身に価値があり、あなたにしかできない使命(ミッション)があります」というメッセージです。本校での3年間、あらゆる場面で「あなたは大切な存在である」と伝え続けることで、生徒の中でどんどん自己肯定感が高まり、失敗を恐れることなくチャレンジできたり、自分を変える努力を惜しまないようになりつつあります。
近年、本校は生徒数の急激な増加を遂げましたが、キリスト教学校である限り人間的な成長をすべての土台とする姿勢が変わることはなく、私自身も生徒を全力で支えていきたいと願っております。

小論文によって 大学が生徒の力を判断

4年後に予定されている大学入試改革において、小論文の重要性はさらに高まるものと予想され、対策に不安を抱く保護者の方もいらっしゃるかと思います。しかし、私たちはこれまでの方針を大きく転換することは考えておりません。なぜなら、改革の内容が、これまで本校が取り組んできた小論文対策が間違っていないことを示すものであり、私自身も自信を持って入試改革を迎えられると確信しているからです。

現在も小論文試験は、生徒自身の力量を判断する最適な手法として、多くの大学で入試に課されています。本校では、受験間近にあわてることがないように、1年次より専門の講師を招き、指導および小論文模試に取り組むことで、基礎的な力を養っています。
さらに、3年次になると、年に5回の大手予備校による通信方式の小論文講義が総合学習の中に組み込まれています。この講義は、もともと希望者を対象としておりましたが、年々その数が増え、昨年度からは3年生全員が受講するようになりました。専門家の添削が受けられるとあって提出率も100%に近く、回を重ねることに生徒が着実に力を付けていることが感じられます。

主な進路イメージ

- 難関国公立大学
- 同志社大学
- 関西学院大学
- 青山学院大学
- 有名私立大学
- 私立大学
- 短期大学
- 専門学校
- 北陸学院大学への特別推薦枠

確かなサポート体制で、推薦入試はもちろん、センター試験を含む一般入試にも対応できるハイレベルなコース。同志社大学への特別推薦や有名私立大学の指定校推薦も充実しており、多様化する入学試験制度に対応しています。

主に推薦入試で4年制大学を目指すコース。全国のおよそ130大学に約500名の推薦枠を有し、北陸学院大学への特別推薦枠が充実しています。大学から就職まで幅広い進路の選択が可能なコースです。

※選択科目によって理系大学や看護系の学校への進学も可能です。

特別進学コース
難関国公立大学への進学を目指して

総合進学コース*
主に推薦を利用した多彩な進路に対応

コース紹介

2016年度の大学入試結果から 合格実績で見る「進学力」

現役の4年制大学進学率が70%を超え、本校の進路決定における4年制大学選択の傾向が強くなってきたと感じます。また、今年度も看護・医療系への進学希望者が多く、あらゆる入試スタイルを活用し、96%の生徒が志望する進路へ歩みを進めました。

2015年度卒業生4年制大学・短期大学等合格実績 **すべて現役合格!!**

難関国立大学進学実績

●東京大学1名(2013年度) ●北海道大学1名(2015年度) ●名古屋大学1名(2016年度)

特別進学コース

国公立大学 金沢大2名(国際、保健)、名古屋大1名(文)

私立大学

北陸学院大6名(人間総合)、同志社大8名(社会、心理、スポーツ健康科、政策、生命医科、文化情報、法、経済)、関西学院大5名(教育、法、理工)、金沢医科大学1名(看護)、金沢工業大6名(環境・建築、工、情報フロンティア)、金沢星稜大5名(経済、人文)、愛知学院大1名(文)、愛知淑徳大2名(創造表現)、桜美林大1名(リベラルアーツ)、関西外国語大1名(外国語)、岐阜女子大2名(家政)、京都産業大4名(経済、理)、京都光華女子大2名(看護、健康科)、京都橋大2名(現代ビジネス、健康科)、近畿大2名(法、経営)、金城学院大1名(人間科)、金城大4名(看護、医療健康)、神戸女学院大1名(文)、神戸女子大2名(文学、看護)、國學院大1名(法)、国際基督教大1名(教養)、国立音楽大1名(音楽)、城西大2名(経営、現代政策)、上智大1名(総合グローバル)、仁愛大1名(人間生活)、聖泉大1名(看護)、聖徳大1名(児童)、玉川大2名(観光、芸術)、多摩美術大1名(美術)、千葉工業大1名(創造工)、帝京大1名(薬)、東京女子医大1名(看護)、東京女子大1名(現代教養)、東京農業大1名(地域環境科)、同志社女子大2名(看護)、東洋大1名(経済)、名古屋学院大2名(リハビリテーション、国際文化)、新潟青陵大学1名(福祉心理)、日本映画大1名(映画)、日本大1名(法)、フェリス学院大1名(文学)、佛教大1名(教育)、法政大1名(法)、北陸大4名(薬学、人文、未来創造)、北海道医療大1名(歯)、武庫川女子大9名(文、薬、看護、生活環境)、武蔵大1名(人文)、明治学院大3名(経済、社会、心理)、桃山学院大1名(法)、立命館大3名(法)、龍谷大1名(国際)、

短期大学 北陸学院大学短期大学部3名、青山学院女子短期大学2名、金沢星稜大学女子短期大学部1名

総合進学コース

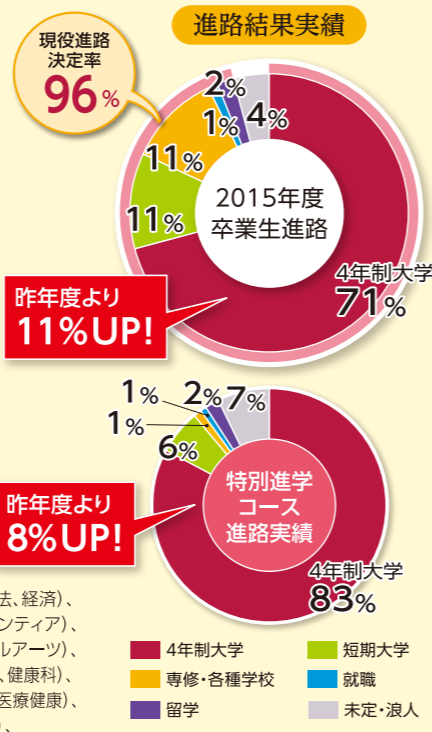
国公立大学 富山大1名(経済)

私立大学

北陸学院大13名(人間総合)、同志社大1名(商)、青山学院大1名(地球社会共生)、追手門学院大4名(国際教養)、大阪学院大2名(経済、外国語)、大阪芸術大1名(芸術)、大阪国際大1名(国際教養)、活水大1名(健康生活)、金沢学院大4名(経営情報)、金沢工業大11名(工学、環境・建築、情報フロンティア、バイオ・化学)、金沢星稜大5名(経済・人間)、関西大1名(政策創造)、関東学院大2名(経済・法)、岐阜女子大1名(家政)、京都産業大2名(外国語)、金城学院大2名(国際情報・生活環境)、金城大3名(看護)、甲南女子大1名(人間科)、神戸松蔭女子学院大2名(人間科)、相模女子大1名(人間社会)、淑徳大1名(コミュニティ政策)、中部大1名(経営情報)、帝京大2名(経済、外国語)、東海大1名(体育)、同志社女子大1名(表象文化)、東洋英和女学院大1名(国際社会)、名古屋外国語大1名(現代国際学)、名古屋学院大3名(スポーツ健康、現代社会)、新潟医療福祉大1名(医療技術)、日本大1名(理工)、フェリス学院大1名(文)、福井工業大1名(スポーツ健康科)、北陸大5名(未来創造)、明治学院大2名(社会、経済)、桃山学院大1名(法)、森ノ宮医療大1名(保健医療)、四日市大2名(総合政策)、立命館大1名(経済)

短期大学 北陸学院大学短期大学部15名、金沢星稜大学女子短期大学部2名、共立女子短期大学1名、富山福祉短期大学2名、武庫川女子短期大学2名

参考：過年度生の合格実績(2016年度) 金沢工業大(バイオ・化)、富山大(経済)、杏林大(外国語)、帝京大(法)、東京理科大(理)、東洋大(理工)、日本大(商)、名城大(法)



本校では、キリスト教に基づいた「勉強プラスもうひとつ」を教育方針として徹底しています。特別進学コースと総合進学コースのどちらの生徒も、勉強とそれぞれの「もうひとつ」を両立して充実した学校生活を過ごし、大きな成長を遂げています。「もうひとつ」は部活動や生徒会、習い事などさまざまですが、自分の未来の実現に向けて進む人間力を養っています。



「勉強プラスもうひとつ」で
人間的な成長を

なぜ北陸学院高等学校が選ばれるのか? 「ミッション」の「教育力」



同志社大学
※推薦枠は今後変更になる場合があります。詳細は本校までお問い合わせください。

「キリスト教 学校教育同盟加盟校」に加入している大学へ優先して推薦できる特有の制度があります。代表的なものとして、同志社大学に12名、関西学院大学に16名、青山学院大学に7名、それぞれ有しており、県内でこれらの大学にもっとも近い高校と言えます。他にも、全国におよそ130大学、約500名の指定校推薦枠を有し、幅広い選択肢の中から将来を指すことができます。

指定校推薦枠
約130大学
約500人

指定校推薦枠の豊富さ



クリスマス礼拝

本校には、花の日礼拝やクリスマス行事など、キリスト教教育校ならではの行事が多くあります。また、生徒自身が主体的に取り組み、運営する行事が多いのも「ミッション」の特徴です。仲間と共に行事に取り組み、時にはぶつかり合い、互いに認め合いながら何かをやりとげる経験は、人として成長するための学びの場でもあります。



花の日礼拝

一人ひとりが主役の
心を育む「ならでは」の行事

少子化の時代の中でも、入学者数、受験者数ともに伸びている「ミッション」。進学面でも4年制大学への進学率が大きく躍進している。選ばれ続ける「ミッション」の教育力の理由に迫る。

学校・入試説明会のお知らせ

北陸学院高等学校

11月19日(土) 学校・入試説明会①
11月26日(土) 学校・入試説明会②
12月3日(土) 学校・入試説明会③

北陸学院中学校

9月22日(木・祝) 学校説明会
10月22日(土) 入試問題解説会

※詳しくは、本校にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

中学生のお子様をもつ保護者の方へ

スカラシップ奨学金制度……下記成績優秀者の3年間の授業料を無償*1とします

①本校の入学試験で5教科の合計点が400点以上の入学者
②本校を推薦入試(専願・併願とも)で受験し合格した者のうち、3年次の9教科評定の合計が本校の定める基準以上の入学者

| 従来 | 奨学金が支給された場合 | 1年目 | 2年目 | 3年目 |
|-------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 授業料 26,000円 | 高等学校等 奨学金 -9,900円 | 高等学校等 奨学金 -9,900円 | 高等学校等 奨学金 -9,900円 | 高等学校等 奨学金 -9,900円 |
| | 北陸学院高校 スカラシップ 奨学金制度を利用した場合 | スカラシップ 奨学金制度 -16,100円 | スカラシップ 奨学金制度 -16,100円 | スカラシップ 奨学金制度 -16,100円 |
| | | 3年継続して 合計0円/月 | | |

※1: 入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。
※2: 毎月の授業料から「高等学校等奨学金制度」の支給額を差し引いた金額です。
※3: 本制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断となることもあります。 合計26,000円/月 合計16,100円/月